

製品名: CD231 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08293**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

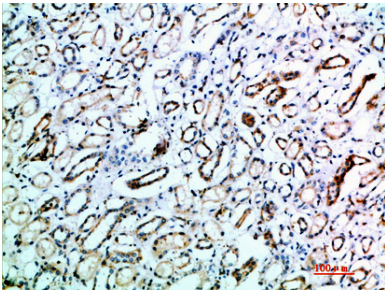
遺伝子名	TSPAN7 A15 DXS1692E MXS1 TM4SF2 Tetraspanin-7 (Tspan-7; Cell surface glycoprotein A15; Membrane component chromosome
別名	X surface marker 1; T-cell acute lymphoblastic leukemia-associated antigen 1; TALLA-1; Transmembrane 4 superfamily member 2; CD antigen CD231)
遺伝子 ID	7102.0
SwissProt ID	P41732
免疫原	アミノ酸配列範囲: 101~150 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

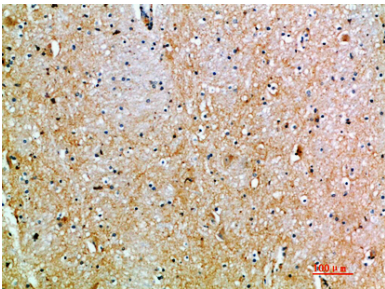
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通型 4 スーパーファミリー (テトラスパニンファミリーとも呼ばれる) のメンバーです。これらのメンバーのほとんどは、4つの疎水性ドメインの存在を特徴とする細胞表面タンパク質です。これらのタンパク質は、細胞の発達、活性化、成長、運動性の調節に役割を果たすシグナル伝達イベントを媒介します。このコードされるタンパク質は細胞表面糖タンパク質であり、神経突起伸展の制御に関与している可能性があります。インテグリンと複合体を形成することが知られています。この遺伝子は、X連鎖性精神遅滞や、ハンチントン舞蹈病、脆弱X症候群、筋強直性ジストロフィーなどの神経精神疾患に関連しています。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患: TSPAN7 の欠陥が精神遅滞 X連鎖型 58 (MRX58) の原因である[MIM: 300210]。精神遅滞は、適応行動の障害を伴う、発達期に発現する、全般的な知的機能が著しく低いことを特徴とします。非症候性精神遅滞患者は、他の臨床徴候を示さない場合があります。機能: 細胞増殖および細胞運動に関与している可能性があります。類似性: テトラスパニン (TM4SF) ファミリーに属します。組織特異性: T細胞のみに発現するわけではありません。一部の患者の急性骨髄性白血病細胞に発現しています。、

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された